

特にイヌワシを主対象とする調査地点は、イヌワシを可能な限り追跡できるように、広く見渡せる地点とした。

調査中であっても、新たな地域を観察する必要が生じた場合は、その都度、踏査を実施し、より良い調査地点が見つかった場合は、調査地点を移動した。

なお、調査員の安全確保のため、調査地点周辺の積雪の状況、当日の天候状況も考慮に入れ、調査地点を配置した。

2.1.3 調査対象種

本調査で記録対象とした種〔重要な猛禽類（タカ目）〕を表 2.1.3-1に示す。調査対象種は、天然記念物、種の保存法、環境省のレッドリスト、群馬県のレッドデータブック等で重要な種として指定されている種の中で、群馬県で記録される可能性のある種とした。

重要な猛禽類（タカ目）に該当しないが、出現頻度が高くない猛禽類（タカ目）については、重要な猛禽類（タカ目）の観察に支障とならない程度に記録した。ただし、重要な猛禽類（タカ目）に該当せず、出現頻度が極めて高いトビとノスリについては、重要な猛禽類（タカ目）の観察の支障となるため、記録対象としなかった。

表 2.1.3-1 調査対象種〔重要な猛禽類（タカ目）〕のリスト

No.	種名	重要種の選定基準				*5 群馬県での 渡り区分	平成7年2月～ 平成23年9月の 調査で確認 された種	
		*1 天然 記念物	*2 種の 保存法	*3				*4
		環境省 RDB 2002	環境省 RL 2012	群馬県 RDB 2002				
1	ミサゴ			NT	NT	注目	留鳥 (森岡1998, 鳥学2000)	○
2	ハチクマ			NT	NT	準絶危	夏鳥 (森岡1998, 鳥学2000, 群馬2002)	○
3	オジロワシ	国	国内	EN	VU	注目	冬鳥 (森岡1998, 群馬2002)	○
4	オオワシ	国	国内	VU	VU	注目	冬鳥 (群馬2002)	
5	オオタカ		国内	VU	NT	準絶危	留鳥 (森岡1998)	○
6	ツミ					注目	積雪の多い寒地の個体は暖地に移動して越冬する(中村1995). 繁殖例あり(群馬2002)	○
7	ハイタカ			NT	NT	準絶危	留鳥 (森岡1998). 繁殖例あり(群馬2002)	○
8	サシバ				VU	絶危Ⅱ	夏鳥 (群馬2002)	○
9	クマタカ		国内	EN	EN	絶危Ⅰ	留鳥 (群馬2002)	○
10	イヌワシ	国	国内	EN	EN	絶危Ⅰ	留鳥 (群馬2002)	○
11	ハイイロチュウヒ					注目	冬鳥 (群馬2002)	○
12	チュウヒ			VU	EN	注目	冬鳥 (群馬2002)	○
13	ハヤブサ		国内	VU	VU	注目	留鳥 (森岡1998)	○
14	コチョウゲンボウ					注目	冬鳥 (群馬2002)	○

H23 ハツ場ダム工事事務所周辺地域猛禽類調査

注) *1. 文化財保護法により、保護されている種および亜種

特天：国指定特別天然記念物

国：国指定天然記念物

地域：国指定天然記念物のうち、地域指定のあるもの

*2. 「絶滅のおそれのある野生動植物の種の保存に関する法律」において選定されている種および亜種

国内：国内希少野生動植物種

国際：国際希少野生動植物種

緊急：緊急指定種

*3. 環境省 RDB2002：「改訂・日本の絶滅のおそれのある野生生物-レッドデータブック(鳥類)」(環境省、2002年8月)に記載されている種および亜種

環境省 RL2012：「第4次レッドリスト(環境省報道発表資料、2012年8月28日)」に記載されている種および亜種

EX：絶滅・・・我が国では既に絶滅したと考えられる種

EW：野生絶滅・・・飼育・栽培下でのみ存続している種

CR：絶滅危惧ⅠA類・・・絶滅の危機に瀕している種のうち、ごく近い将来における野生での絶滅の可能性が極めて高いもの

EN：絶滅危惧ⅠB類・・・絶滅の危機に瀕している種のうち、A類ほどではないが、近い将来における野生での絶滅の危険性が高いもの

VU：絶滅危惧Ⅱ類・・・絶滅の危険が増大している種

NT：準絶滅危惧・・・存続基盤が脆弱な種。現時点では絶滅危険度は小さいが、生息条件の変化によっては「絶滅危惧」に移行する可能性のある種

LC：情報不足・・・評価するだけの情報が不足している種

LP：地域個体群・・・地域的に孤立しており、地域レベルでの絶滅のおそれが高い個体群

*4. 群馬県 RDB2002：「群馬県の絶滅のおそれのある野生動物 動物編(群馬県、平成14年2月)」に記載されている種および亜種

絶危Ⅰ：絶滅危惧種Ⅰ類(県内で、絶滅の危機に瀕している種)

絶危Ⅱ：絶滅危惧種Ⅱ類(県内で、絶滅の危機が増大している種)

準絶危：準絶滅危惧(県内で、存続基盤が脆弱な種)

注Ⅰ：注Ⅰ(県内で注目すべき種)

*5. 渡り区分：その地域で種(または亜種)としてどの季節に確認されるかを区分した鳥類用語。個体の入れ替わりは考慮されていない(フィールドガイド日本の野鳥、高野1989)。

留鳥：周年(通年)確認される。

夏鳥：春の渡りでその地域に飛来し、繁殖し、秋の渡りで南方へ飛去する。

冬鳥：秋の渡りでその地域に飛来し、越冬し、春の渡りで北方へ飛去する。

旅鳥：主に春の渡り期または秋の渡り期にのみ確認される。

漂鳥：その地域内で季節により観察される地域が移動する。

迷鳥：その種の本来の分布域や渡りのコースから外れて渡来する。

※群馬県での渡り区分の参考文献

森岡1998：日本のワシタカ類第2版[森岡照明・叶内拓哉・川田隆・山形則男、平成10(1998)年7月 文一総合出版]

鳥学2000：日本鳥類目録改訂第6版2000[日本鳥学、平成12(2000)年9月]

群馬2002：群馬県の絶滅のおそれのある野生生物[群馬県、平成14(2002)年2月]

中村1995：原色日本野鳥生態図鑑<陸鳥編>[中村登流・中村雅彦、平成7(1995)年2月 保育社]